



三菱UFJフィナンシャル・グループ  
**株主の皆さまへ**

第2期中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

Quality for You 

**メッセージ**

株主の皆さまへ

**MUFGレポート**

グループ会社の統合・再編  
海外拠点紹介

**決算**

平成18年度中間期の  
業績について

**アンケート**

MUFGの配当政策

お客さまのあらゆる金融ニーズにグループ一体となってお応えします。

## 資産管理

日本マスタートラスト信託銀行

## 確定拠出年金

日本確定拠出年金コンサルティング

## 証券代行

日本シェアホルダーサービス

JPビズメール

## 調査・コンサルティング

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

三菱アセット・ブレインズ

三菱UFJトラスト投資工学研究所

## 法人のお客さま向けビジネス

### リース

ダイヤモンドリース\*

UFJセントラルリース\*

東銀リース 日本ビジネスリース

### ベンチャーキャピタル

三菱UFJキャピタル

MUハンズオンキャピタル

### システム

ダイヤモンドコンピューターサービス

UFJIS UFJ日立システムズ

## カード・信販・消費者金融

UFJニコス\*\*

ディーシーカード\*\*

菱信ディーシーカード

アコム

DCキャッシュワン

モビット

## 信用保証・不動産調査

三菱UFJ住宅ローン保証

三菱UFJトラスト保証

エム・ユー不動産調査

## 外貨両替

東京クレジットサービス

(ワールドカレンシーショップ)

## 不動産仲介

三菱UFJ不動産販売

## 債権管理・回収

エム・ユー・フロンティア債権回収



MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行

三菱UFJ証券

## ファクタリング

三菱UFJファクター

## 海外

Union Bank of California

三菱UFJセキュリティーズ

インターナショナル

BTMUキャピタル・

コーポレーション

## ウェルスマネジメント

三菱UFJウェルスマネジメント証券

三菱UFJメリルリンチPB証券

ダイヤモンドプライベートオフィス\*\*\*

UFJプラザ21\*\*\*\*

## 資産運用

三菱UFJ投信

MU投資顧問

国際投信投資顧問

## ネット証券

カブドットコム証券

## ネット決済

ペイジェント

## 個人のお客さま向けビジネス

\*ダイヤモンドリースとUFJセントラルリースは、平成19年4月に合併し、「三菱UFJリース（仮称）」となる予定です。

\*\*UFJニコスとディーシーカードは平成19年4月に合併し「三菱UFJニコス」となる予定です。

\*\*\*ダイヤモンドプライベートオフィスとUFJプラザ21は、平成19年1月に合併し、「三菱UFJ個人財務アドバイザーズ」となる予定です。



注：リテール…出張所を含む本支店。銀行、信託銀行は振込専用支店などのバーチャル店舗、ローン推進出張所、代理店などを除く。  
証券はお客さま向けカウンターを持たない営業拠点を除く。

法人……「法人営業オフィス」を含む。

平成18年9月30日現在

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、平成十八年度中間期の業績および当社グループの近況についてご説明した冊子「株主の皆さまへ」をお届けいたします。

## 平成十八年度中間期の業績について

平成十八年度の連結中間純利益は、期初計画を約千七百億円上回り五千七十二億円となりました。

これは、貸出資産の質の改善が想定を上回る速度で進んだことにより、不良債権処理費用が全体で戻入益になったことが主な要因です。

収益の中身を見ますと、債券関係損益の悪化などによる市場収益の減少を主因に、連結営業純益が前年同期※比約四百億円減少し七千七百三十九億円となりましたが、「リテール」「法人」「受託財産」の顧客三部門合計では新規連結化要因もあり約五百億円の増益となり、収益力は着実に伸びています。資産の質の観点では、不良債権比率が平成十七年

度末比0・64%低下して1・43%となり、健全性は一層向上しました。また、連結自己資本比率については、公的資金の返済に際し自己株式の取得を行いました。また、11・95%と十分な水準を確保しております。

## 株主の皆さまへの還元策などについて

MUFグループは、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の持続的な向上と企業体質のさらなる強化をめざしつつ、配当金額の継続的な増加に努めることを基本方針といたします。中期的には、業績や戦略的な投資の環境等を総合的に判断したうえで、連結当期純利益に対する配当性向を20%程度に高めるように努力してまいります。こうした考えから、今年度の普通株式の配当予想については、中間・期末配当をそれぞれ期初予想の三千五百円から千五百円増配し、一株あたり五千円（年間配当金は二万円）といたしました。また、お客さまへのサービス向上についても、統合効

果の早期還元の見点から本年五月に実施した個人のお客さまの振込手数料の一部無料化に続き、三菱東京UFJ銀行に口座をお持ちのお客さまに対し、コンビニATM約二万二千台の利用手数料の無料化を含む引き下げ<sup>※※</sup>を、来年三月中をめどに実施する予定です。

### 最後に

MUFGグループでは、現在、「Quality for You」<sup>クオリティ・フォー・ユー</sup>というグループメッセージを、広告



などの場面で展開しています。このメッセージには、「サービス」「信頼度」「国際性」の三つの側面において、どの金融機関よりも優れた「質」<sup>クオリティ</sup>を提供していくという私どもの想いが込められています。

「You」とは、株主の皆さまをはじめ、お客さまや地域・社会の皆さまなど、MUFGを支えていただいている多くの皆さまのことにほかなりません。皆さまのご期待にお応えし、皆さまから強く支持される金融グループになることをめざし、役員一同、総力を結集してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも「層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成十八年十二月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
取締役社長

味柳信雄

# MUFGLレポート

## グループ会社の統合・再編

総合金融機能の強化は着実に進んでいます。

MUFGLグループでは、グループ会社の統合を進めています。平成十七年十月の持株会社発足と同時に、信託銀行、証券会社、投信会社が合併、平成十八年一月には、普通銀行が合併しました。また、ファクタリング等の分野でもグループ会社の統合・再編を実施しています。

今後は、平成十九年四月にUFJニコス株式会社と株式会社ディーシーカードが合併して「三菱UFJニコス株式会社」となるほか、グループのリース会社「ダイヤモンドリース株式会社」と「UFJセントラルリース株式会社」が合併して「三菱UFJリース株式会社（仮称）」が誕生する予定です。

さらに、グループ内の経営資源などをより有効かつ効率的に活用していくため、平成十九年九月に、関係当局などの承認を前提として、三菱UFJ証券を持株会社の100%子会社とする予定です。

これにより、MUFGLグループは、銀行、信託、証券をはじめ、投信、カード、消費者金融、リースなど主要な金融業務の分野において、高い競争力と存在感を持つグループ会社を擁することになります。これらのグループ会社が緊密に連携することで、お客さまのあらゆる金融ニーズに総合的かつ機動的にお応えし、「世界屈指の総合金融グループ」を実現していきます。

## 主なグループ会社の統合

平成17年10月1日	持株会社、信託銀行、証券会社等が合併し、MUFGグループ誕生 三菱UFJフィナンシャル・グループ 三菱UFJ信託銀行 三菱UFJ証券 三菱UFJ投信 三菱UFJファクター 三菱UFJキャピタル 三菱UFJ不動産販売 など
平成18年1月1日	普通銀行等が合併 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJリサーチ&コンサルティング など
平成18年5月1日 平成19年4月(予定)	三菱UFJメリルリンチPB証券 営業開始 カード会社、リース会社が合併 三菱UFJニコス 三菱UFJリース(仮称)
平成19年9月(予定)	持株会社による三菱UFJ証券の100%子会社化

## MUFGグループの主要なグループ会社

### 三菱UFJフィナンシャル・グループ (持株会社)



※三菱UFJリースは持分法適用関連会社となる予定です。

### その他主要グループ会社

資産運用	三菱UFJ投信／国際投信投資顧問	ベンチャーキャピタル	三菱UFJキャピタル
消費者金融	アコム／DCキャッシュワン／モビット	ファクタリング	三菱UFJファクター
プライベートバンキング	三菱UFJメリルリンチPB証券	調査・コンサルティング	三菱UFJリサーチ&コンサルティング
不動産	三菱UFJ不動産販売	海外	ユニオン・バンカル・コーポレーション

# MUFGレポート

## 海外拠点紹介第一回〜三菱東京UFJ銀行カラチ支店

世界四十カ国以上に広がる海外ネットワーク。そこには、日本のお客さまの海外事業展開を支えてきた歴史があります。今回ご紹介するのは、パキスタンのカラチ支店です。

三菱東京UFJ銀行カラチ支店は、大正十四年（一九二五年）に横浜正金銀行のボンベイ支店・カラチ出張所として誕生。第二次世界大戦後に、ニューヨーク、ロンドン、カルカッタに次ぐ東京銀行四番目の海外支店として開店しました。

現在では、日本

の商社や二輪・

自動車メーカー、

多国籍企業が進

出してきており、

カラチ支店では

こうした企業や

現地企業へ、ご



融資や貿易金融、保証業務等を提供しています。

近年、パキスタン経済は大幅に改善しており、



〈パキスタン・イスラム共和国概況〉  
面積：79.6万km<sup>2</sup>（日本の約2倍）  
人口：約1億5,540万人  
首都：イスラマバード  
言語：ウルドゥー語（国語）  
宗教：イスラム教（国教）  
通貨：パキスタン・ルピー



今後も7%前後の高い経済成長が見込まれます。平成十年以降中断されていた同国向けODA(政府開発援助)も平成十七年に再開され、日系企業のあいだでも、拠点の設立や駐在員の

派遣等の動きが新たに出てきています。カラチ支店では今後も、日本企業のパキスタンでの事業展開を唯一の邦銀としてサポートしていきます。

## 現地からご紹介します

### 観光資源の隠れた宝庫

パキスタンは、世界の八千メートル級高山十四峰のうち、五峰を有する、世界屈指の高山国であるとともに、インダス文明やガンダーラの代表的遺跡であるモヘンジョダロ、ハラッパ、タキシラを有し、観光資源の隠れた宝庫といえます。周辺インフラの未整備等により、従来一般的にはあまりなじみがありませんでしたが、今後、より多くの観光客が訪れることが期待されています。



### 極彩色の小型バス

空港から市内に入ると目に飛び込むのは極彩色の小型バスです。全体に赤・青・黄等の派手な原色の図柄が描かれていますが、これは、パキスタンに固有のもので、これに鳥が描かれているものもありますが、まれに鳥が描かれているものもありますが、偶像崇拜厳禁の宗教柄のためか、人間、動物の図柄はまず見られません。



## 平成18年度中間期の業績について

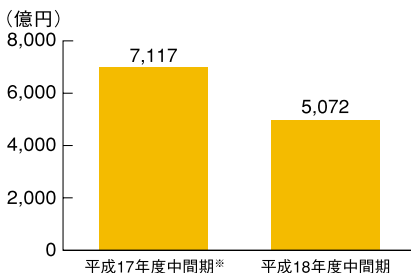
### 決算のポイント

- 👉 連結中間純利益は与信関係費用の戻入益もあり、  
期初予想を上回る5,072億円
- 👉 貸出資産の質は一層改善し、不良債権比率は1.43%に低下
- 👉 自己資本比率は11.95%と引き続き十分な水準を確保

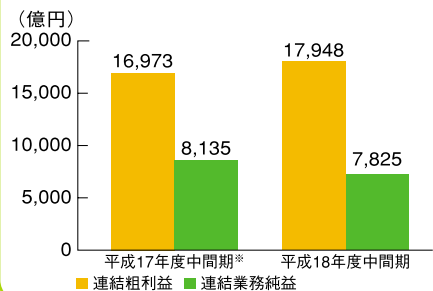
### 〈損益について〉

連結粗利益は、投信関連収益の増加や子会社の増加等から、前年同期比975億円増加の1兆7,948億円となりました。一方、子会社の増加等により経費も増加したため、連結業務純益は前年同期比309億円減少し7,825億円となりました。連結中間純利益は「貸倒引当金戻入益」が前年同期比2,118億円減少したことなどから、前年同期比2,044億円減少し5,072億円となりました。

#### 連結中間純利益



#### 連結粗利益・連結業務純益



※平成17年度中間期は三菱東京フィナンシャル・グループとUFJホールディングスの単純合算です。

(単位：億円)

損益の状況（連結）	平成17年度中間期*	平成18年度中間期
連結粗利益（信託勘定償却前）	16,973	17,948
うち資金利益	8,579	9,456
うち役務取引等利益	4,840	5,574
営業費	8,837	10,122
連結業務純益 （一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前）	8,135	7,825
臨時損益（△は費用）	△762	△1,189
うち与信関係費用	△734	△542
うち株式等関係損益	307	137
経常利益	7,363	6,635
特別損益	3,244	1,707
うち貸倒引当金戻入益	3,488	1,369
法人税等十法人税等調整額	3,217	2,930
少数株主利益	272	340
連結中間純利益	7,117	5,072
与信関係費用総額 （信託勘定償却十与信関係費用十貸倒引当金戻入）	2,745	826

## 用語解説

### ① 営業費とは…

一般企業決算における「営業費用」に該当するもので、内訳としては、人件費と物件費（システム関連の減価償却費、支店などの賃借料など）が中心です。

### ② 貸倒引当金とは…

将来の貸倒れ損失発生に備えて、予め損失発生額を見積もり、積み立てておく引当金のことです。お取引先の業況改善などで当初見積りどおりの引当金が必要なくなった場合は、会計上この引当金の「戻し入れ」が発生し、これが利益として計上されます。

# 平成18年度中間期の業績について

(単位：億円)

資産・負債の状況(連結)	平成17年度末	平成18年度中間期末
資産の部	1,870,467	1,847,353
うち貸出金	857,631	856,711
うち有価証券	485,089	477,664
負債の部	1,772,204	1,750,762
うち預金	1,189,880	1,156,029
純資産の部(平成17年度末は資本の部)	77,278	96,590

連結自己資本比率の状況	平成17年度末	平成18年度中間期末
連結自己資本比率(国際統一基準)	12.20%	11.95%
Tier1比率	6.80%	6.82%

不良債権の状況	平成17年度末	平成18年度中間期末
不良債権(金融再生法開示債権)	18,259	12,778
不良債権比率	2.07%	1.43%

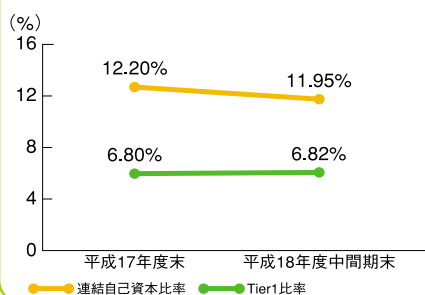
## 〈資産・負債について〉

貸出金は、国内店貸出が減少した一方、海外店貸出が増加した結果、前年度末比ほぼ横ばいの85.6兆円となりました。預金は、法人預金を中心に前年度末比3.3兆円減少し115.6兆円となりました。

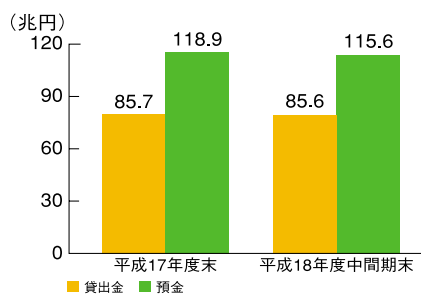
## 〈連結自己資本比率について〉

公的資金返済に際し、自己株式2,870億円の取得を実施しましたが、利益による資本の増加もあり、連結自己資本比率は11.95%と引き続き十分な水準を確保しています。

### 連結自己資本比率(国際統一基準)



### 貸出金・預金



## 〈部門別の業績について〉

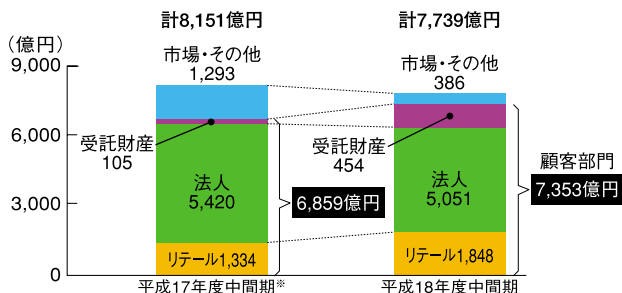
MUFGグループでは、個人向け業務を扱う「リテール」、法人向け業務を扱う「法人」、投信や年金業務などを取り扱う「受託財産」の顧客3部門を中心に収益力の強化に取り組んでいます。

平成18年度中間期は、市場関連業務の収益減少等により営業純益<sup>※※</sup>全体では、前年同期比約400億円減少しましたが、これら顧客3部門では同約500億円の増加となりました（内訳は以下の表のとおりです）。

※※営業純益・・・連結業務純益の内部取引消去等の連結調整前の計数（管理ベース）

リテール部門の営業純益	UFJニコスの新規連結化を主因に、前年同期比約500億円増加し、1,848億円に。
法人部門の営業純益	アジアを中心とする海外業務が好調だった一方、お取引先の信用状況の改善や貸出競争の激化による貸出利ざや縮小などにより、前年同期比約370億円減少し、5,051億円に。
受託財産部門の営業純益	子会社の増加や、投信関連業務の好調などにより前年同期比約350億円増加し、454億円に。

## 〈部門別の営業純益推移〉



※平成17年度中間期は三菱東京フィナンシャル・グループとUFJホールディングスの単純合算です。

# 企業の社会的責任 (CSR) 経営への取り組み

金融グループとしてできること

持続可能な社会の実現のために企業としてできることは何か。

MUFグループは、多くの皆さまに支えられている企業として、本業である金融を通じた貢献を中心に取り組んでいます。

### CSRレポートを発刊

環境保全プロジェクトへの資金供給、CSR活動に積極的に取り組んでいる企業へのサポートなど、MUFグループでは、金融を通じた社会貢献に努めています。こうした取り組みをまとめた「CSRレポート2006」を、平成十八



「CSRレポート2006」

URL

<http://www.mufg.jp/csr/csrreport/>

年九月に発刊しました。このレポートを通じ、株主の皆さまやお客さまとのコミュニケーションをより充実させたいと考えています。

「CSRレポート2006」は、当社のホームページに掲載しているほか、ご希望の方への郵送も行っています(お申し込みはホームページにて)。

### 第一回「かがやきフォーラム」を開催

女性の活躍推進は企業はもちろん、社会にとっても重要なテーマとなっています。三菱東京UFJ銀行では、平成十八年四月に人事部内に女性活躍推進室を設置し、女性のキャリア形成支

援、仕事と生活の両立に向けた施策、意識改革を進めています。

この取り組みの一環として、女性行員を対象に「かがやきフォーラム」を開催しています。その第一回が平成十八年十月に東京で開催され、約二百七十名が参加し



ました。女性行員によるパネルディスカッション、先進企業の役員による講演などが行われ、参加者からは「行内外で活躍する女性を知り、刺激になった」との声が聞かれました。今後、名古屋・大阪を含め全四回開催し、参加者数は合計で約千名に上る予定です。

## 「団塊世代のリタイアメント白書」を作成

安心して暮らせる環境、充実した人生が過ごせる社会の実現に向け、MUFJグループはさま

ざまな取り組みを行っています。三菱UFJ信託銀行は、平成十九年から増加が見込まれる団塊世代の退職者層向けに、充実したセカンドライフ実現を支援する商品・サービスを提供しています。その専門性を活かし「団塊世代のリタイアメント白書」をフィデリティ投信株式会社と共同で作成しました。

本書は、退職後の環境変化やそれに伴うリスク、セカンドライフに対する漠然とした不安などに對して、どのような対策が考えられるのか」という解決の方向性をご紹介します。

ご希望の方はお近くの三菱UFJ信託銀行店舗までお問い合わせください。



団塊世代のリタイアメント白書

## 退職を迎える方々向けの セミナーを開催

平成十八年十一月から十二月にかけて、MUFグループは「リタイアメント・アカデミー」を、東京、横浜、大阪、名古屋で開催しました。セミナーでは、間もなく退職を迎える方や退職したばかりの方々を対象に「退職前後に『本当に“必要な知識”」「退職後のマナープランニング」をテーマとした、実践的なマナープランについて専門家が講演しました。各会場とも多く

の方々にご来場いただき、セミナーの内容についても大変好評でした。

## 営業拠点の内部管理態勢を強化

三菱東京UFJ銀行ではお客さまに安心してお取り引きいただけるよう、法令等遵守態勢を強化しました。リテール（個人顧客）部門では営業拠点の内部管理業務をサポートする専門担当者二百四十四名を全国に配置し、法人部門では営業活動を確認・指導する専門担当者三十五名を全地域に配置しました。これらの担当者は担当する営業拠点を回り、商品販売時の法令等遵守状況等についてサポート・指導・チェックを行います。また、情報管理や法令等遵守に関する勉強会を定期的に主催しています。





## ユーラシア三菱東京UFJ銀行が 営業を開始

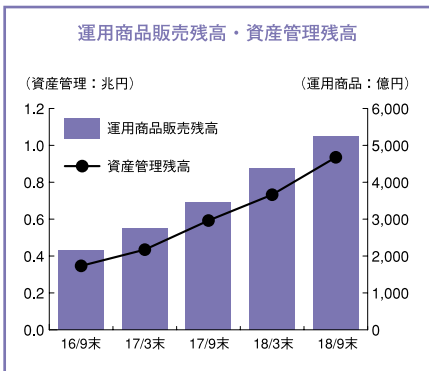
ロシア連邦の首都モスクワにおいて、三菱東京UFJ銀行の子会社「ユーラシア三菱東京UFJ銀行」が平成十八年十一月から営業を開始しました。ロシア通貨ルーブル建て取引を中心とした、預金・融資・為替取引やキャッシュマネジメントサービスなど、現地企業のお客さまに幅広いサービスを提供していきます。



## 確定拠出年金分野で 業界トップクラスの実績

確定拠出年金（企業型）は、従業員のための年

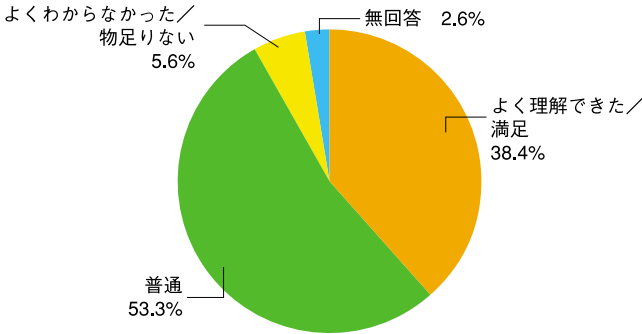
金給付用掛金を企業が毎月拠出し、従業員自身が運用商品を選択して資産の運用を行い、運用結果に応じた年金額を受け取る制度です。平成十三年十月の制度発足以来加入者が二百万人を超え、市場は急成長しています。MUFJグループは、幅広い法人顧客層に対し充実した運用商品を取り揃え、年金制度全般にわたる豊富な経験とコンサルティング機能で、確実に成果をあげています。平成十八年八月末時点の運用商品販売残高と資産管理残高では、業界トップクラスの実績となりました。



## 株主アンケート結果のご報告

株主の皆さまとのコミュニケーションをより深めていくため、第一期「株主の皆さまへ」(平成十八年六月発行)においてアンケートを実施しました。  
 ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。アンケートの結果をここに「ご報告する」とともに、今後のIR(投資家向け広報)活動に活かしてまいります。

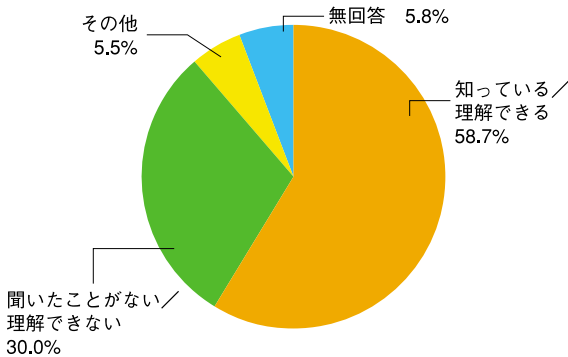
## 「株主の皆さまへ2006」の感想



「普通」が53.3%と最も多く、次に「よく理解できた／満足」の38.4%となりました。

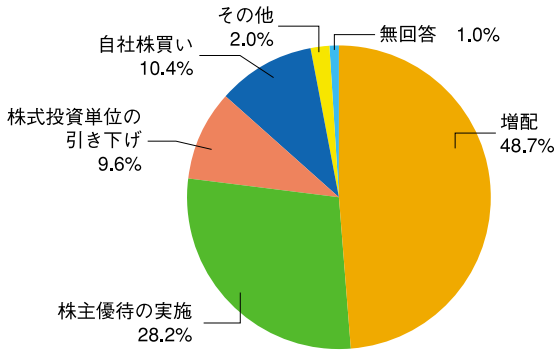
掲載を希望される内容としては、「今後の事業計画」「用語解説の充実」「新商品・サービスの紹介」等がありました。今後とも株主の皆さま向け「情報発信」の場として一層の内容充実を図ってまいります。

## グループメッセージ「Quality for You」について



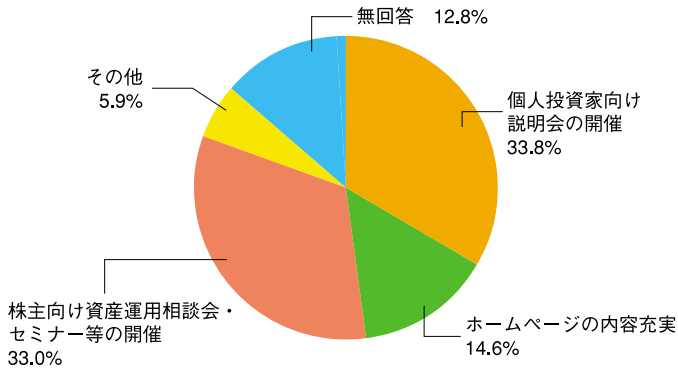
58.7%の皆さまに「知っている／理解できる」とご回答いただいておりますが、「今回初めて知った」というご意見も多くいただいております。今後とも、「Quality for You」の実現に向け、社員一同努力していくことで、皆さまへの一層の浸透を図ってまいります。

### 今後、充実を希望される株主還元策



「増配」を希望する回答が最も多く48.7%、次いで「株主優待の実施」28.2%、「自社株買い」10.4%、「株式投資単位の引き下げ」9.6%となりました。

### 今後、充実を希望される活動



「個人投資家向け説明会の開催」「株主向け資産運用相談会・セミナー等の開催」が各々33.8%、33.0%となりました。また本冊子「株主の皆さまへ」の充実を希望するご意見もいただいています。

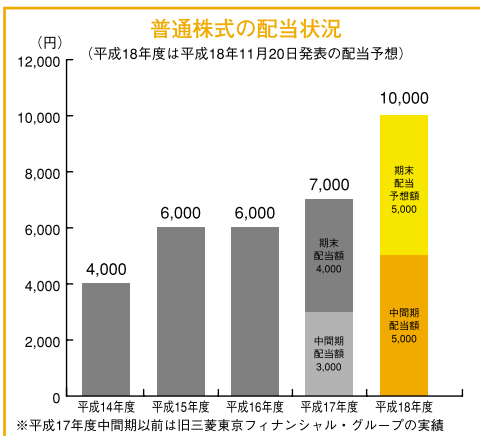
# MUFGの配当政策

企業価値の持続的な向上と財務体質のさらなる強化をめざしつつ、配当金額の継続的な増加に努めていきます。

当社では、平成十八年六月の公的資金完済後の配当政策につきまして、さまざまな角度から検討を重ねてまいりました。その結果、株主の皆様

への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、企業価値の持続的な向上と財務体質のさらなる強化をめざしつつ、配当金額の継続的な増加に努めることを基本方針としました。こうした考えのもと、平成十八年度の普通株式配当予想については、中間・期末配当ともに期初予想の三千五百円から千五百円増配し、一株あたり五千円（年間配当予想一万円）といたしました。

中期的には業績や戦略的な投資の環境などを総合的に判断したうえで、連結当期純利益に対す



## 大株主（普通株式 平成18年9月30日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	579,115.00	5.38%
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	468,703.00	4.35%
3 ヒーロー、アンド、カンパニー	297,255.00	2.76%
4 日本生命保険相互会社	215,148.70	1.99%
5 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	209,304.00	1.94%
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口）	175,000.00	1.62%
7 ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー 505103	165,224.00	1.53%
8 ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー	145,235.00	1.34%
9 トヨタ自動車株式会社	120,850.68	1.12%
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （三菱重工工業株式会社口・退職給付信託口）	118,740.00	1.10%
合計	2,494,575.38	23.17%

（注）1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

2. 上記のほか、当社が保有している普通株式の自己株式651,076.03株があります。

3. ヒーロー、アンド、カンパニーは、ADR（米国預託証券）発行のため預託された株式の名義人です。

## 上場証券取引所

東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所

## 株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、決算公告は当社ホームページに掲載 （ホームページアドレス <a href="http://www.mufig.jp/">http://www.mufig.jp/</a> ）

### 株式事務取扱場所・取次所

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〈お問い合わせ先・郵便物送付先〉 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696（フリーダイヤル） （受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店

## お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、  
端株買取請求、端株買増請求に必  
要な各用紙および株式の相続手続  
依頼書のご請求は、株主名簿管理  
人のテレホン自動音声応答サービス  
フリーダイヤル  
**【0120-864-490】**  
で24時間承っておりますので、ご利用  
ください。

平成18年12月1日現在

取締役会長（代表取締役）

たまこし りょうすけ  
**玉越 良介**

取締役副会長（代表取締役）

うえはら はるや  
**上原 治也**

取締役社長（代表取締役）

くろやなぎ のぶお  
**畔柳 信雄**

取締役副社長（代表取締役）

ながやす かつり  
**永易 克典**

専務取締役（代表取締役）

すぎざき はじめ  
**杉崎 肇**

専務取締役（代表取締役）

わたなべ よしひろ  
**渡辺 喜宏**

専務取締役（代表取締役）

みずの としひで  
**水野 俊秀**

取締役

やすだ しんたろう  
**安田 新太郎**

取締役

あおき ひろひさ  
**青木 広久**

取締役

あきくさ ふみゆき  
**秋草 史幸**

取締役

おかうち きんや  
**岡内 欣也**

取締役

ひらの のぶゆき  
**平野 信行**

取締役\*

おおきじま いわお  
**大木島 巖**

取締役\*

はらだ あきお  
**原田 明夫**

取締役\*

おおとし たくま  
**大歳 卓麻**

常勤監査役

うの せつお  
**宇野 節生**

常勤監査役

まつき はるお  
**松木 春夫**

監査役\*\*

いまい たけお  
**今井 健夫**

監査役\*\*

たかすか つとむ  
**高須賀 昶**

監査役\*\*

おかもと くにえ  
**岡本 圀衛**

\* 大木島 巖、原田 明夫、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

\*\*今井 健夫、高須賀 昶、岡本 圀衛の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## ホームページのご紹介

### 三菱UFJフィナンシャル・グループ

<http://www.mufg.jp/>

MUFJグループの概要や経営戦略、財務・IR情報のほか、最新のニュースリリース、個人投資家の皆さま向けページなど主に投資家の方々のための情報を掲載しています。また、グループ各社ホームページへの入り口としても便利です。



### 三菱東京UFJ銀行

<http://www.bk.mufg.jp/>

商品・サービスのご案内や、各種キャンペーン情報、店舗所在地情報など、三菱東京UFJ銀行の詳細な情報をタイムリーにご覧いただけます。また、最新の経済・金融情報などの情報も掲載しています。



### 三菱UFJ信託銀行

<http://www.tr.mufg.jp/>

三菱UFJ信託銀行の商品・サービスのご案内や各種相談会の開催情報など、信託銀行ならではの幅広い商品、業務、最新の金融・経済情報などを掲載しています。



# 株主の皆さまへアンケートのお願い

当社では、今後とも株主の皆さまとのコミュニケーションをより深めてまいりたいと考えております。つきましては、アンケートを実施させていただきたく、大変お手数ではございますが、以下の質問事項へのご回答をご記入のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます（はがき部分を切り取ってそのままご投函ください）。また、下記URLよりアンケートサイトにアクセスしていただき、ご回答いただくこともできます。（誠に勝手ながら締め切りを平成19年1月31日着までとさせていただきます。）

URL:<https://www.net-research.jp/315350/mufgir>

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

料  
金  
受  
取  
人  
札

郵便はがき

1 7 0 - 8 7 2 0



東京都豊島区西池袋一丁目7番7号

差出有効期間  
平成19年1月  
31日まで  
切手は不要です。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 気付  
株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ 行

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます



該当する番号を○で囲んでください。

ご年齢	1. 10代 6. 60代	2. 20代 7. 70代以上	3. 30代	4. 40代	5. 50代
お住まいの地域	1. 北海道 6. 中国	2. 東北 7. 四国	3. 関東	4. 中部	5. 近畿 8. 九州・沖縄
性別	1. 男	2. 女			
ご職業	1. 会社員・公務員    2. 会社役員    3. 自営業    4. 専門職 5. 無職    6. 主婦    7. 学生    8. その他(    )				
ご所有株式数 (    )株	当社株式保有期間	1. 1年未満 3. 2年以上5年未満	2. 1年以上2年未満 4. 5年以上		
三菱東京UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行のご利用状況					
1. メインバンク(主取引銀行)としてご利用 2. メインバンクではないがご利用    3. お取引なし					



----- ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます -----

## アンケートのお願い(○印をおつけください)

### Q1. 本誌についてのご感想をお聞かせください

1. 満足 2. 普通 3. 内容が理解できない 4. 内容が物足りない  
※今後、特に掲載を希望される内容や改善すべき点などご意見をお聞かせ下さい。  
( )

### Q2. 弊社では平成18年10月にホームページ (<http://www.mufg.jp/>) を全面リニューアルいたしました。弊社ホームページに関するご意見をお聞かせ下さい。

1. 良い 2. 普通 3. 内容が理解できない 4. 見たことがない  
※今後、特に掲載を希望される内容や改善すべき点などご意見をお聞かせ下さい。  
( )

### Q3. 株主の皆さまとのコミュニケーション手段に関してご希望のものをお選び下さい(複数回答可)

1. 株主の皆さま向けセミナー・相談会 2. 株主の皆さま向け決算・経営戦略説明会  
3. ホームページや本誌の内容充実 4. その他 ( )

### Q4. 株主の皆さま向けセミナー・相談会を開催するとして、ご希望のテーマがありましたらお聞かせ下さい(複数回答可)

1. 資産運用や資産承継等に関するもの 2. 株式市場や経済動向に関するもの  
3. 金融とは関係ないテーマによる著名人の講演会  
※その他ご希望される内容がありましたらご意見をお聞かせ下さい。  
( )

### Q5. その他、当社へのご要望等をご自由にお書きください

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

## グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を  
グループメッセージとして、  
お客さまとのさまざまな  
コミュニケーションの場で展開していきます。

# Quality for You

このメッセージには、  
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、  
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の  
『質』の向上をお手伝いしたい。  
そして、こうした活動を通じて  
地域・社会の発展に貢献していきたい」  
という私たちの想いを込めています。

### 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、  
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。

**三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター**

Tel:0120-707-896(フリーダイヤル)

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)